

5-3 教員及び職員の情報通信技術活用能力の研修

5-3-1 FDのための情報技術研究講習会

<事業計画>

私立大学教員の ICT 教育技術力の向上を支援するため、大学・短期大学の教員を対象に学外 FD として対面方式で実施する。分野に共通する LMS(学修支援システム)を用いた授業の個別最適化、対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせた反転授業、授業コンテンツ使用の著作権法上の知識・理解の習得を目指す「全体会」と、参加者が希望するテーマの「ワークショップ」を実施する。例えば、反転授業のデザインと予習動画制作、学修データの解析方法、対面・オンラインでの ICT 活用法(LMS、2D メタバースなどの紹介)、オンライン多職種連携教育、ハイフレックス授業のデザインと運営方法、オンライン授業の学修評価方法などについて、基礎的な理解を深め実践できるよう支援する。また、参加者同士で意見交換しながら理解を深める。

<事業の実施結果>

「FD 情報技術講習会運営委員会」を継続設置し、「FD のための情報技術研究講習会」を実施した。以下に、委員会及び研究講習会の活動を報告する。

FD 情報技術講習会運営委員会

2023 年(令和 5 年)11 月 18 日、12 月 25 日に平均 8 名が出席して 2 回開催し、開催計画の策定、実施準備を行った。

(1) 開催要項の策定

プログラムは、「全体会」で①講義映像を活用した反転授業の効果的なデザインを考える、②生成 AI を活用した授業の取組み、③法政策系分野オンラインフォーラム型授業実験の成果と課題、④デジタル教材の著作権対応と ChatGPT の対応の情報提供を行うことにした。また、「ワークショップ」では、①オンデマンド動画教材作成の紹介、②1 コマから反転授業を実践しよう、③対面・オンライン授業での ICT 活用、④多様な学習環境における学修評価方法の 4 コースを設定し、参加者が希望に応じて参加するアラカルト方式とし、理解の深化を目指して、以下のように開催要項を策定した。

2023 年(令和 5 年)度 FD のための情報技術研究講習会開催要項

1. 開催日程：令和 6 年 2 月 26 日（月）
2. 会場：追手門学院大学総持寺キャンパス
3. 対象者：授業改善に情報通信技術の活用を希望される私立大学・短期大学教員
4. 講習会の概要

先生方は、コロナ禍の中でオンライン授業を体験され、学生にとって良かった面、不都合であった面を通じて、授業価値の最大化に向けた教育方法について、見直す機会を持たれたのではないかと思います。

ご承知の通り、対面授業に加えて教育のデジタル変革(DX)が進みつつあります。文部科学省においてもオンライン授業を導入して、学生一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす学修者本位の教育への転換や、教育の質向上・高度化を目指した対面授業とオンライン授業を効果的に組み合わせた新しい学びの創出を大学に働きかけております。

これからは、対面とオンラインを組合せた授業を如何にデザインし、学生に最適な学びを提供できるかが問われるようになる中、実際にどのように自分の授業の中で展開していけば良いのか、不安や戸惑いを感じることも少なくないのではないのでしょうか。

そこで、本研究講習会では、反転授業を中心とした対面・オンラインの組合せ授業、教材作成・ICT 活用、ChatGPT への対応などについて、基礎的な理解を深め実践できるよう、「全体会」と「ワークショップ」を設定しました。

【全体会】10:00～12:00 A会場

- (1)講義映像を活用した反転授業の効果的なデザインを考える

岩崎 千晶 氏（関西大学教育開発支援センター副センター長、教育推進部教授）

(2)生成 AI を活用した授業の取組み

二瓶 裕之 氏（北海道医療大学情報センター長、薬学部教授）

(3)法政策系分野オンラインフォーラム型授業実験の成果と課題

中村 壽宏 氏（神奈川大学学長補佐、教育支援センター所長、法学部教授）

(4)デジタル教材の著作権対応と ChatGPT の対応

中村 壽宏 氏（神奈川大学学長補佐、教育支援センター所長、法学部教授）

高畠 英弘 氏（京都産業大学法学部教授）

【ワークショップ】

(1)ワークショップ 1 13:00～15:00 A会場

オンデマンド動画教材作成の紹介

枳尾 真一 氏（追手門学院大学経済学部経済学科准教授）

[コース内容]

オンデマンド用動画教材として、パワーポイントに字幕を付与したビデオを作成します。具体的には、下記フリーソフトを利用して実習を行います。また、合成音声の体験もしていただきます。

[事前準備]

フリーソフト「VOICEVOX」と「ClipChamp」を使用しますので、事前にインストールをお願いします。

[参加要件]

演習の都合上、WindowsPCに限定しますので、ご了承ください。

(2)ワークショップ 2 13:00～15:00 B会場

1 コマから反転授業を実践しよう！：対面授業における講義映像の活用法

岩崎 千晶 氏（関西大学教育開発支援センター副センター長、教育推進部教授）

[コース内容]

反転授業をまずは実際に1コマ導入するための、授業設計案を作成します。全授業回のどの回に反転授業を導入するのか、どのような学修内容の映像を制作するのか、グループワークを通して考えます。

[事前準備]

反転授業を導入してみたい科目のシラバスを4部コピーして持参してください。

(3)ワークショップ 3 15:15～17:15 A会場

対面・オンライン授業での ICT 活用

及川 義道 氏（東海大学教育開発研究センター所長、理系教育センター次長）

[コース内容]

LMS や 2D メタバースを用いた授業支援、CommentScreen、Slido を用いた授業内での学生とのコミュニケーション方法、タブレットを用いた板書などワイヤレス環境を活用したツールの利用、授業支援のための ChatGPT の使い方を体験・実習します。

[事前準備]

他のクラウドサービスのサインインに用いますので、事前に Google アカウントを取得しておいてください。

(4)ワークショップ 4 15:15～17:15 B会場

多様な学習環境における学修評価方法（学生の生成 AI 利用を含む）

渡辺 雄貴 氏（東京理科大学教育支援機構教職教育センター教授）

[コース内容]

多様な対面・オンライン授業をタイプ分けし、それぞれの学習環境における学修評価方法を考察します。授業設計（インストラクショナルデザイン）の理論をもとに、グループワークを通して、それぞれの学修評価方法の改善を目指します。また、昨今話題になっている生成 AI が授業にもたらすであろう影響やその対応についても検討します。

[事前準備]

学修評価方法の改善を目指す科目のシラバスを4部持参してください。

(2) 実施結果

2024年(令和5年)2月26日に開催し、追手門学院大学総持寺キャンパスを会場に33大学1短期大学から37名の参加があった。以下に、アンケートを踏まえた結果を報告する。

1. 全体会

- ・ レクチャーで得た知識をワークショップでスキルとして身に付ける素晴らしい構成だった。
- ・ 反転授業を実施する基本的な考え方に頭の整理がついた。
- ・ 学会等で DX をもとにした授業の取組み報告を聞いたが、どのように対応すべきなのか分からないままだった。今回は、いろいろな方法・やり方が聞けて良かった。
- ・ テーマが多くダイジェストであったが、全体の大きな流れや課題が理解できた。
- ・ 生成 AI と著作権の話は考えたこともなかった内容で大変興味深かった。

2. ワークショップ

①「オンデマンド動画教材作成の紹介」

- ・ 具体的なポイントを聞くことができたので、後は実践あるのみだと思った。
- ・ 自分のパソコンで実際に操作確認できたのが良かったと思う。

②「1 コマから反転授業を実践しよう」

- ・ 難易度が高いイメージから、気軽に導入できるイメージに変わった。
- ・ 内容が実践的で、次年度の授業からできるような気になった。
- ・ ワークの時間があり、グループで意見交換できたのが良かった。
- ・ 反転授業の問題点について、様々な事例を挙げながら理解を深める時間があればより良かった。

③「対面・オンライン授業での ICT 活用」

- ・ 様々な授業支援の方法を知ることができ、実際に使用してみたいものがたくさんあった。
- ・ 学生が普通に使っている ChatGPT をどうするのか分からなかったので、体験できて良かった。
- ・ ツールのメリットとデメリットを具体的に聞くことができればより良かった。

④「多様な学習環境における学修評価方法」

- ・ 新しい授業を考えねばと奮起し、ARCS モデル(学修意欲向上の動機づけ)の話はとても共感した。
- ・ 自分のシラバスは良くできていると自負していたが、学修目標と評価方法がリンクしておらず、明確でもなかった。
- ・ 生成 AI の登場による評価方法の変化の具体例がもう少し欲しかった。